

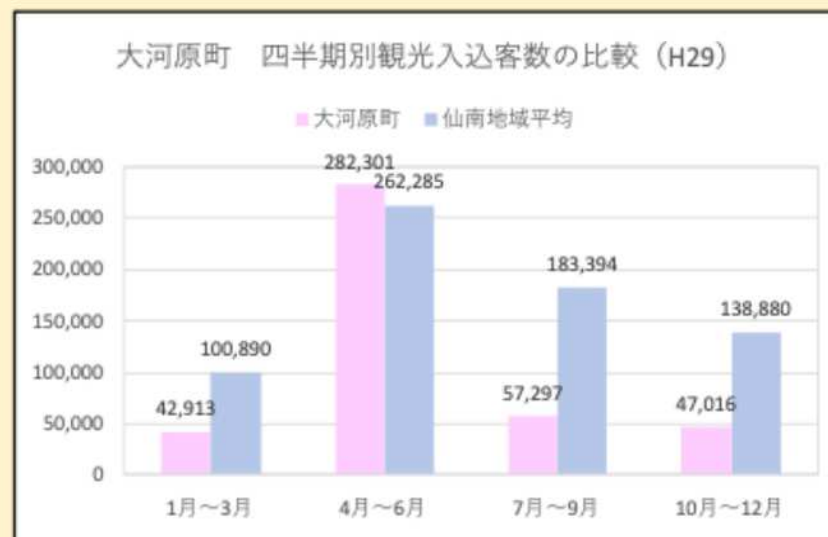
白石川右岸河川敷等整備事業 基本計画（案）について



令和2年度 仙南地域政策調整会議

◆背景

- ・ 本町の中心部を流れる白石川河川敷の桜堤は、「一目千本桜」として名所となっており、毎年4月に開催される「おおがわら桜まつり」では観光客が賑わい重要な観光資源となっています。
- ・ 一方で、本町における通年の観光入込客数は、4月～6月は仙南地域平均値を約2万人上回っているが、平成29年宮城県観光統計概要によると、4月～6月以外においては仙南地域平均値より大きく下回る結果となっています。



資料：H29 宮城県観光統計概要

◆目的

- ・ 本計画では、白石川右岸河川敷の未利用地となっているJR白石街道神谷踏切～大河原大橋までの用地を対象に、桜の季節以外でも年間を通じたイベントの開催や、町民の健康増進にもつながるようなスポーツを中心とした賑わい空間等、新たな観光資源として、子供から高齢者まで楽しめる空間を整備することを目的とします。

第6次大河原町長期総合計画（H30.10月）	・県による白石川右岸河川敷整地事業（上谷～上大谷地区前）に合わせ、広場、トイレ、駐車場等、関連施設の整備を検討します。 ・町民が気軽に集える場や、広域的なサイクリングロードの拠点、また、一目千本桜や白石川等との一体的な展開を図り、町内の観光エリアの拡大と広域的周遊ルート形成なども検討します。
第4次国土利用計画（H31.3月）	・河川敷の未利用地については、周辺の景観との調和に配慮しつつ、広域交流拠点として、適切な開発を行う。
大河原町都市計画マスタープラン（R1.8月）	・白石川河川公園や隣接する大河原公園において、既存のレクリエーション機能の維持・強化を図ります。 ・蔵王連峰への眺望が特に優れている葦神堰や、大規模な平場空間を確保可能な川前地区河川敷空間においては、レクリエーション空間の整備を検討します。 ・レクリエーション拠点間を繋ぐ歩行者・自転車の移動空間としての機能を高めます。

これまでの検討内容や作業部会、検討委員会の意向を踏まえた整備方針

整備方針1：一目千本桜ブランド化に向けた柴田町との連携

整備方針2：観光や物産など1年を通じた交流人口の確保・定着化

整備方針3：スポーツやウォーキングによる町民の健康づくりの実践

整備方針4：子供から高齢者まで安全・安心に過ごせる河川環境づくり

【前検討計画における課題】

- ◆自動車利用の非アクセス性と交通対策
- ◆細長い敷地形状による限定的な土地利用
- ◆河川区域内における施設整備の制約
- ◆蔵王眺望を含む良好な景観形成への配慮

【河川区域内での施設整備基準】

工作物設置許可基準、許可工作物技術審査の手引き、工作物設置許可マニュアル等に基づく、河川管理者との協議

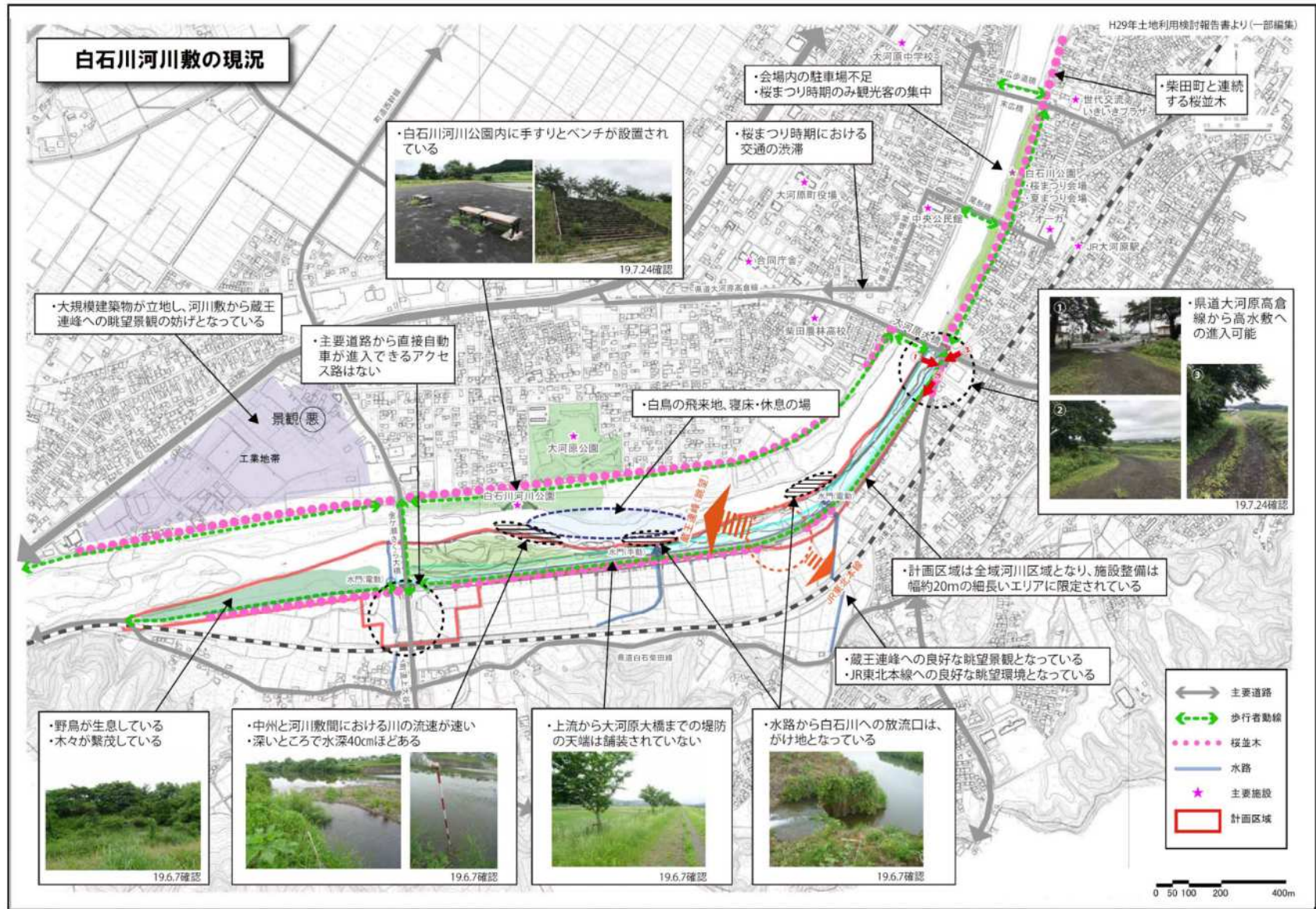
【本計画における課題】

- ◆災害時に配慮した計画

【対象区域の基本方針】

1. 柴田町との連携と一目千本桜の更なる延伸による、東北一を誇る桜名所のブランド構築
2. 年間を通じたイベント開催を可能とした機能・拠点整備による賑わいと景観の骨格軸形成
3. 健康づくりの基軸となり、世代間・地域間交流を活性化させるスポーツ活動の拠点整備
4. どの世代でも楽しめる河川敷の活用をするとともに安全面に考慮した整備

「一目千本桜ブランドを牽引する賑わい交流河川軸の形成」
～点・線から面へ展開するまちづくりへ～



白石川右岸河川敷整備 土地利用ゾーニング

○全体的な土地利用について

- ・A～Dゾーンにおいて、連続したフットパス（歩くことが出来る小径）を設ける
- ・堤防天端はサイクリング・ウォーキングロードの整備
- ・パークゴルフやドッグランの周囲等に花の修景スペースを設ける

A：自然ふれあいゾーン

- ・自然を活かした散策路
- ・昆虫採集、バードウォッチング等



資料：守谷市

リバーアクティビティゾーン

- ・カヌー、カヤック
- ・リバーサップ



資料：SOTOASORI

D：エントランスゾーン

- ・多目的広場
(イベント時駐車場・自転車練習等)



資料：さいたま市

C：スポーツ交流ゾーン

- ・パークゴルフ (3コース)



2019.7.2撮影

B：にぎわいレクリエーションゾーン

- ・多目的広場
- ・キャンプ、BBQ、芋煮会
- ・ドッグラン



資料：もみじ市 (2015年)

資料：新潟県工務

資料：和歌山市

親水空間

- ・小川など子どもが安全に遊べる親水空間の整備



資料：新潟県



S=1:10,000 (A3)

0 10 100 200m

【ストリートスポーツエリア】

- ・スケート、BMX



資料：SKEPA

- ・バスケット (3on3)



資料：新潟県市

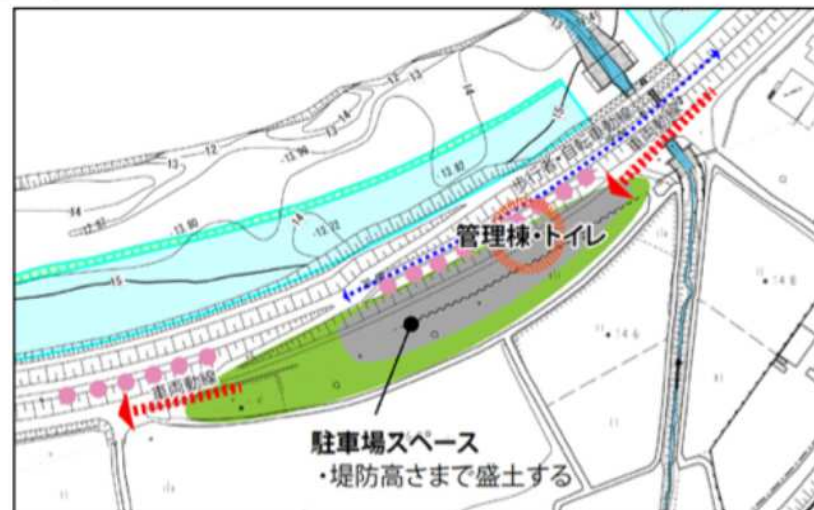
●B：にぎわいレクリエーションゾーン「親水広場」

- ・ 白石川の水を利用し、高水敷と低水敷の間に入流し小川が流れる仕組みを土木事務所と連携して計画します。



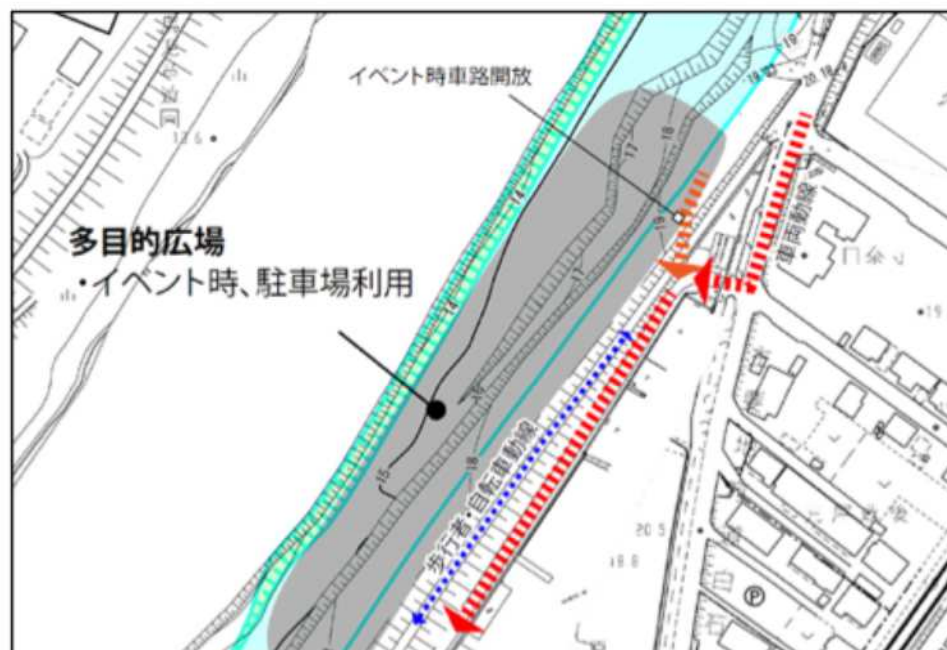
●C：スポーツ交流ゾーン「堤内地駐車場盛土」

- ・ 令和元年 10 月に発生した台風 19 号の影響により、白石川の周辺で多数の冠水箇所が見られました。
- ・ 今回の計画において、C ゾーンの堤内地に駐車場・トイレ・管理棟を整備する計画としていますが、今回のような自然災害により、白石川が増水した場合、トイレや類する設備が浸水し、機能停止する可能性があります。それらを防ぐために、駐車場スペースを堤防天端の高さまで盛土し、盛土スペース内にトイレや管理棟等の施設を整備する方針とします。



●D：エントランスゾーン「車両進入路」

- ・ 毎年おおがわらさくら祭り時は、駐車場の入出庫に時間を要するなど、会場周囲の交通状況が混雑します。
- ・ D ゾーンの多目的広場をさくらまつり時やその他イベント時の臨時駐車場に使用する場合、スムーズな周回が出来るように混雑を回避するための経路を計画します。



A: 自然ふれあいゾーン

◆土地利用全体

【サイクリングロード】

- 堤防天端をサイクリングロードとして整備する。
- ※都市マスの重点プロジェクトとして位置付けられている「白石川河川敷を活用したサイクリングロードの整備」について、現在事業として実施中である。

【フットパス（ウォーキングロード）】

- 河川敷内（高水敷）に柴田町まで続くことをイメージした、白石川フットパス※（仮）を整備する。

【バードウォッチング等ができる散策路】

- 野鳥や昆虫が集まる現在の環境を残し、自然とふれあえる散策路を整備する。
- ※現在、町職員が立ち会い、残す樹木を指定しながら伐採・伐根作業を進めている。

緑地(現況のまま)

芝生

広場

駐車場

土系広場

低水敷

サイクリングロード

フットパス

車道

ベンチ

バードウォッチング等ができる散策路

サイクリングロード

フットパス
(ウォーキングロード)

S=1:2,500 (A3)

0 20 50 100m

C: スポーツ交流ゾーン

【パークゴルフ場】

- ・パークゴルフ（27ホール）として整備する。
- ・下流側は、パークゴルフと車道間に花を配置することにより、パークゴルフと車道にバッファを持たせる。また、さくらが途切れている箇所を花を配置することによりカバーさせる。
- ※公益社団法人日本パークゴルフコース設置基準（H23年2月24日制定）によると、必要面積として、18ホール（約12,000㎡以上）のコースとなっている。

【駐車場】

- ・パークゴルフ使用者の利便性を高めるために駐車場を設ける。駐車場は堤防天端と同等の高さを想定する。
- ・堤外地から乗り入れ可能とする。



D：エントランスゾーン

【多目的広場③】

- ・さくら祭りなどのイベント時において臨時駐車場としても使用できる多目的の広場とする。
- ・また、通常時は子供の自転車練習等に活用できる。

多目的広場③
(駐車場利用など)

フットパス
(ウォーキングロード)

サイクリングロード

さくら祭り時等、車両混雑時に開放する

水路幅や護岸の形状により、水路上を通ることは難しいため計画変更する。

管理棟・トイレ

S=1:2,500 (A3)

緑地(現況のまま)	サイクリングロード
芝生	フットパス
広場	車道
駐車場	車両動線
土系広場	
低水敷	

▼親水広場イメージ



▼ドッグラン・パークゴルフイメージ



▼パークゴルフイメージ

